

1 主 題 多様な性

2 教材名

# 16 ふたりの「ゆう」



3 主題・教材について

社会には、依然として、男女間の固定的役割分担意識が強く残っている。このことが子どもたちの意識にも大きな影響を与えていると考えられる。

この教材を通して、一人一人の子どもが性別にとらわれず、自分らしく生きることが追求できるようにしたい。

また、今後、性同一性障害等の性的少数者の人権について考える素地としていきたい。

（関連教科・領域：道徳、特別活動）

4 ねらい ・男女間の固定的役割分担意識にとらわれず、自分らしく生きるためには、どうすればよいかを考える。

5 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的な性に関する質問について考え、理由や感想を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○×を記入させる。</li> <li>教室の一方の壁側を「○」、他方を「×」とし、どちらか（どちらでもない場合は間）に立つことにより、自分の考えを表明させてもよい。</li> <li>なぜ、そう考えたのか、理由を発表させる。</li> <li>男女間の固定的役割分担意識に気づかせたい。</li> </ul>	ワークシート1
展開	<p>「ふたりの『ゆう』」を読もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文を読み、感想や意見を出し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まもるやひろこが「ゆう」を見た時に思ったことを考えさせる。</li> </ul>	ワークシート2
	<p>まもるやひろこは、なぜまちがえたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ふたりの『ゆう』」の続きを読む。</li> <li>まもるやひろこが「ゆう」の性別を間違えたことに気づき、その理由を考え、ワークシート2に記入する。</li> <li>記入したことをもとに、ペアやグループで話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ゆう」の特徴と間違えた理由を結びつけて考えさせる。</li> <li>本文だけでなく、自分の経験も併せて考えさせるとよい。</li> <li>ペアやグループで意見を出し合った後で全体に発表してもよい。</li> </ul>	
まとめ	<p>ふたりの「ゆう」の思いに迫ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふたりの「ゆう」なら、性別に関する質問にどう答えるかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な意見が出されることが予想されるが、意見交換を通じ、自分の考えを見つめ直すきっかけとしたい。</li> </ul>	ワークシート2
	<p>「男らしく」「女らしく」について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習をふり返り、「男らしく」「女らしく」について考えたことや思ったことをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>性別による決めつけた見方のない方が、自分らしく生きていけることに気づかせたい。</li> </ul>	

次の文を読んで、そう思うものには○、思わないものには×を書きましょう。  
 (どちらでもないときは、空けておいてもかまいません。)

野球やサッカーが好きなのは、たいてい男の子だ。	
お料理やお菓子 <sup>かし</sup> 作りは、女の子のしゅ味だ。	
女の子が人前で大きな口を開けて笑うのは、みっともない。	
男の子は、人前で泣いてはいけない。	
重い荷物を運ぶのは、男の子の仕事だ。	
炊事 <sup>すいじ</sup> や洗濯 <sup>せんたく</sup> などの手伝いは、女の子がするほうがよい。	
女の人、料理は上手なほうがいいと思う。	
男の人、家事や育児より仕事の方が大事だと思う。	
「男(女)らしくしなさい」と言われても、気にならない。	
「男のくせに」「女のくせに」という言葉をよく使う。	

書いたことを見直して、感想を書きましょう。

「ふたりの『ゆう』」を読んで、感想を書きましょう。

まもるやひろこは「ゆう」を見たとき、どう思ったのでしょうか。

【ワークシート2】

実は、このお話には続きがあったのです。

「えっ、この子が『ゆう』？」

そう言ったまもるに、  
あつしが言いました。



「そう、この子が野球  
大好き少女の『ゆう』だよ。」



「はじめまして、まもるさ  
ん。」

にっこり笑って「ゆう」が  
言いました。

「えっ、この子が『ゆう』？」

そう言ったひろこに、あ  
ゆみが言いました。



「そう、この子が料理  
大好き少年の『ゆう』だよ。」



「はじめまして、ひろこさ  
ん。」

にっこり笑って「ゆう」が  
言いました。

まもるとひろこはなぜ「この子が『ゆう』？」と言ったのでしょうか。

まもる

ひろこ

ふたりの「ゆう」は【ワークシート1】の質問をどのように感じるでしょう。

「男は男らしく」「女は女らしく」ということについて、考えたことを書きましょう。

名前 ( )